

# サテイクワ サテイク



صديق و صديقة



江戸川区立第二葛西小学校

JICA 青年海外協力隊

ヨルダんだより No. 8

令和5年 3月31日



## 限りあるもの

### マルハバン！（こんにちは！）

早くも3月も終わりを迎えますね。6年生の皆さんは小学校を卒業して中学生に、1～5年生の皆さんも1人1人がこの1年間で心も身体も大きく成長したことでしょう。

そして、いよいよ明日からは新年度。また1つ学年が上がり、ますます成長していくことを願っています。そのような新しい出会いが待つ今、日本では桜が満開に…というニュースを耳にしました。街中などは白とピンク色が溢れ、温かな景色になっていることでしょうね。



こちらヨルダンにも春が訪れていて、写真のような花が至るところに咲いています。  
こちらは何の花だと思いますか？ 日本人の誰もが「桜？」と思ってしまうが、  
実は「アーモンド」の花なのです。（同じバラ科に属しているようです。）

そして同じように春ではありますが、ヨルダンの新学期は9月なのです。そのため春休みはありません。しかし、今はイスラム教の方々にとって大切な、ある月（時期）を迎えています。それについては次回、紹介しますね。



## ヨルダンのくらしクイズ！の答え 後編

前回、ヨルダンは「さばく」が多く、川や雨の降る量が少ないため、深刻な「水不足」にあるという話をしました。今回はヨルダンの水の仕組みについて紹介していきます。

Q1 みなさんは、いつもどのような時に水を使いますか？



Q1：手洗い、歯磨き、トイレ、お風呂、食事、掃除、植物の水やり…等、家で使うだけでもこれほどありますが、一歩家を出たら、スイミング、レストランでの調理やモール等の施設内のトイレや掃除、工場、スーパーに置いてある野菜や果物を育てるための農業等にも水は欠かせませんね。

### 日本の水の流れ（4年生で学習します！）



※資料：政府広報オンライン

Q2

日本では、毎日（週7日間）、配水管を通して家に水が常時運ばれています。

さて、ヨルダンでは週何回配水管から水が運ばれているのでしょうか。

Q2：ヨルダンでは週に2日間（50時間）ほどこ水が配水管から家に運ばれてきません。もし一気に使ってしまったら…、残りの5日間は水が出ないことになってしまいます…。そのようにならないために、どのような工夫をしていると思いますか？ この写真がヒントです。



どの建物にも“あるもの”が設置されています。

「白い水タンク」です。どの家もどの建物の屋上にもこの白い水タンクが設置され、水が貯められるようになっているのです。



私の住む家の水タンク。部屋ごとにタンクが分かれています。

地下を通して運ばれてきた水は、

- ① 配水管
  - ② 地下の水タンク  
(水を貯めておく)
  - ③ 屋上の白い水タンク  
(ポンプで上げて貯める)
  - ④ タンクから各部屋へ  
(蛇口から水が出る)
- 運ばれ、これを繰り返しています。



① 配水管 → ② 地下タンクへ

### ヨルダンのくらしクイズ! の答え

ですから、私の部屋だけ水が止まってしまったのは、屋上にあるタンク内の水が「空っぽ」になってしまったからなのです。そのため、ときどき屋上タンクの中に水があるかを確認し、少なくなっていたら地下タンクにある水をポンプで屋上のタンクに上げて入れ直す必要があるのです。

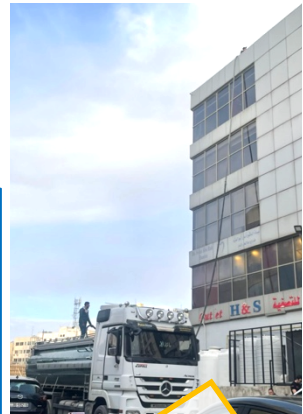
そして、タンクの水もいつ流れてきた水なのか分からないため、水道水の水をそのまま飲むことはしていません。一度沸騰させて使用しています。

ちなみにシャワーを浴びる時には（湯船はありません）、蛇口からすぐにお湯は出ません。そのため、毎日シャワーの前には右の写真の機械でお湯を沸かす必要があります。温まるまでに夏は20分ほど、冬は1時間20分ほどかかります。



Q3 え…大家族で住むことが多いヨルダンなのに、水が足りなくなることはないの？

Q3：あるようです。しかし、配水管から運ばれてくる水は週50時間（地域による）と限られています。そこで登場するのが…この車「給水車」。電話すると、家やアパート、お店等まで来て、地下や屋上タンクに直接水を入れてくれるそうです。



日本では蛇口をひねると当たり前のように出てくる水ですが、どの国でも水には「限り」があります。流したままにせず、大切に使用したいですね。

屋上にあるタンクにトラックのホースで水を入れていきます。